



報告

2012 年度論文賞の 受賞論文紹介

● 選定にあたって ●

西尾 章治郎

論文賞委員会委員長 / 大阪大学大学院情報科学研究科

本論文賞は、論文誌各誌に掲載された論文の中から、約 50 編に 1 編を目安に特に優秀な論文を選定し、その著者に対して授与するものである。2012 年度論文賞受賞論文の著者による各 1 ページの紹介記事を次ページ以降に掲載する。紹介記事のタイトルからキーワードを抜き出して並べると、「インタラクティブ遊具」、「インタラクションの解析」、「高効率 TCP/IP」、「仮想計算機技術」、「ユーザ情報収集プラットフォーム」、「手術シミュレータ」、「マルチホームネットワーク」、「機械翻訳」、「推薦サービス」、「フェロモン・コミュニケーション」、「仮想 CPU スケジューラ」、「低消費電力化手法」、「全周囲形状計測」となり、基礎から応用まで、また要素技術からシステムまで、情報処理学会が対象とする研究分野の広さを改めて感じさせるとともに、本会の会員が情報処理分野における学術、科学技術の進歩発展を担い、新しい領域を拓いていることを誇りに思う。ぜひ、次ページ以降の紹介記事をご一読いただき、論文には記載されない著者の想いや苦労も推し量っていただきたい。

以下に受賞論文の選定過程について報告する。情報処理学会論文（論文誌 ジャーナル, Journal of Information Processing, 論文誌 トランザクションの全誌（8 誌））に掲載された論文に対して、学会論文誌運営委員会委員長（副会長）が委員長を兼ねた論文賞委員会が、ワーキンググループを論文誌ごとに組織し、優秀な論文を選定する体制となっている。論文賞の名称も次の通り掲載誌ごとに異なる。

- ジャーナル「情報処理学会論文賞」
- JIP [Journal of Information Processing Outstanding Paper Award]

- トランザクション「情報処理学会論文誌〈誌名〉優秀論文賞」, [IPSJ Transactions on〈誌名〉Outstanding Paper Award]

2012 年度論文賞の対象となったものは、論文誌 ジャーナル, Journal of Information Processing, 論文誌 トランザクション 8 誌（論文誌 プログラミング, 論文誌 数理モデル化と応用, 論文誌 データベース, 論文誌 コンピューティングシステム, 論文誌 コンシューマ・デバイス&システム, Transactions on Bioinformatics, Transactions on System LSI Design Methodology, Transactions on Computer Vision and Applications）に掲載された計 753 編の論文である。これらの中で、実際に選定を行ったのは論文誌 ジャーナル, Journal of Information Processing, 論文誌 数理モデル化と応用, 論文誌 データベース, 論文誌 コンピューティングシステム, Transactions on Computer Vision and Applications の 6 誌であり、これらに掲載された 637 編の論文が実質的な選定対象となった。選定にあたっては、表彰規程および論文賞受賞候補者選定手続きに基づき、論文賞委員会による厳正な審査が行われた。その結果、13 編の受賞候補論文が選定され、理事会の承認を得て受賞が決定した。残りの 4 誌については、対象論文が 50 編に満たなかったため、表彰規程第 11 条に基づき、2012 年度の対象論文を 2013 年度以降の論文賞の対象論文として持ち越すこととなった。なお、受賞論文の著者には、2013 年度定時総会において表彰状、賞牌および賞金が授与された。

(2013 年 6 月 12 日)